



森 建 第 5 3 号
平成19年4月27日

国土交通省道路局長 様

静岡県周智郡森町森 2101
周智郡森町長 村松 藤雄



今後の道路政策や道路・管理について

このことについて、別紙のとおり意見書を提出致しますので、よろしく取り計らい願います。

意見書

本町は、静岡県西部の中遠地域北部、静岡から約40km浜松から約30kmに位置しており、町の南部は袋井市とともに中遠広域都市計画区域を形成している。

行政面積は13,384haで中急傾斜地と林地が7割を占め、南北に細長い行政区域である。

道路網は国道は整備されていないが、主要地方道が東西に掛川天竜線、南北に袋井春野線が通っている。また市街地の南を東西に横断する第二東名高速道路、森掛川IC（仮称）、森町PA（仮称）が整備中であり、さらに太田川ダムの建設など大きな変貌を迎えようとしている中、今後の道路政策等について下記の通り意見をさせていただきます。

記

1. 第二東名高速道路は、開通を間近に控えており、インターチェンジ及びスマートインターチェンジのアクセス道路整備は円滑な交通体系を図るために必要であり、道路特定財源の増額及び国庫補助制度の充実をされたい。
2. 中山間地の交通手段は、ほとんど車で道路が狭隘ですれ違いが困難な道路が数多くあり、人口減の一因と考えられます。市街地の様な歩道を設置した高規格な道路整備でなく、幅員5.0m～7.0m程度の拡幅整備を望んでおりますが、このような中山間地道路整備の国庫補助制度ついて一考願いたい。
3. 当町では、幅員12.0mで都市計画決定された路線が数多くあり、整備すべく一部用地買収をしている路線もあります。現在の道路構造令にあっていない路線についても、小規模の市街地を考慮し、都市計画街路整備事業での国庫補助採択となるような制度にしていただきたい。